

2019 年度地域地理科学会大会

期 日 6月30日(日)

場 所 岡山大学津島キャンパス 文化科学系総合研究棟(文学部南側) 2F 共同研究室

参加費 500円(資料代および会場使用料)

日 程

1. 一般発表(9:20~12:00 1件あたり、発表15分、討論4分、交代1分、計20分)

石井康弘(大阪商業大・院): 地方都市中心市街地の歴史地理学的考察—倉敷市中心部の特質とそれを活かしたまちづくりの在り方—

前田昌義: 近代における岡山県酒造業の地域的構成

吉田遥那(ジャパンインターナショナル総合研究所)・生方史数(岡山大): 地域に根づく 伝統芸能の継承—岡山県高梁市成羽地域の備中神楽を事例に—

星島しげ子(くらしき作陽大): 喫食・調理状況からみた郷土料理の近年における変化—岡山県南部地域の「ばらずし」を例として—

吉本勇(就実大): 瀬戸内主要都市における百貨店の店舗動向

加藤内藏進(岡山大)・松本健吾(岡山大・院)・三宅千尋(岡山大・学)・熊谷龍慶(岡山大・学)・山磨貴登(岡山大・学)・桑名佑典(岡山大・院): 2018年7月豪雨時の中国地方付近での降水の特徴と広域大気場の解析—梅雨システムの動気候学理解への視点から(序報)—

松多信尚(岡山大)・丸山雄大(岡山大・院)・森脇敏: 平成30年7月豪雨における倉敷市真備町の水害の時間経緯とその特徴

日野正輝(中国学園大)・井上拓磨(ヤマト運輸(株)): 岡山県旧真備町における平成30年7月豪雨災害の教訓—高齢化社会のレジリエンス—

2. 一般ポスター発表(12:00~13:15 (コアタイムは12:30~13:15))

松多信尚(岡山大)・江田志都香(岡山県庁)・西川紗永(中四国農政局): 平成30年7月豪雨における倉敷市真備町における避難行動

松多信尚(岡山大)・山口雄治(岡山大)・森脇敏・川上賢太(岡山大・院): 災害遺構の保存について—倉敷市真備町を例に—

3. 高校生によるポスター発表(12:00~13:15 (コアタイムは12:30~13:15))

岡山操山高校 2件 倉敷中央高校 1件

4. 総会(13:15~13:45)

5. シンポジウム(14:00~17:00)

テーマ: アイランドツーリズムの未来像

報告者: 瀬戸内国際芸術祭実行委員会

鳴本浩二(NPO法人 かさおか島づくり海社)

フンクカロリン(広島大)

大石貴之(岡山商科大)

総合討論

オーガナイザー: 大石貴之(岡山商科大)・川田 力(岡山大)

2018 年度地域地理科学大会

期 日 7月 1日 (日)

場 所 岡山大学津島キャンパス 文化科学系総合研究棟 (文学部南側) 2F 共同研究室

参加費 500 円 (資料代および会場使用料)

日 程

1. 一般発表 (9:00~12:00 1件あたり, 発表 15分, 討論 4分, 交代 1分, 計 20分)

片岡克己 (岡山大・院): 乗合バスの縮小とそれに伴う地域的対応ー岡山県を事例にしてー

山崎栄雄 (岡山大・院): 岡山市藤田地区における酒米生産

今井英文 (山陽学園大・非): アジアの異文化理解をテーマにした大学における地理授業の実践ー留学生との交流に着目してー

加藤内藏進 (岡山大)・加藤晴子 (岐阜聖徳学園大)・大谷和男 (岡山大・テレビせとうち (株)): ESD的視点の育成のための気候と音楽との連携ー北欧の気候と季節感を例とする大学での授業実践の報告ー

森康成 (災害・危機対応支援センター)、鳥庭康代 (徳島市加茂南小)、中野晋 (徳島大): 鳥取県中部地震で人々は どのように対応したのかー年代別事例ー

川久保篤志 (東洋大): 攻めの農業と日本の果実輸出の現状

前田昌義: 岡山県の絹糸紡績業と地域経済

末田智樹 (中部大): 西日本近海の捕鯨業における雇用と漁場利用

中藤康俊 (岡山大・名誉): 「田舎暮らし」と地域づくり

2. 一般ポスター発表(12:00~13:15 (コアタイムは 12:30~13:15))

河村光 (岡山大・院): 「水の都」における河川交通の機能変化ー戦後の大阪市を事例にー

NGUYEN THE HUNG (岡山大・院)・金科哲 (岡山大): ベトナムにおけるキャットフィッシュ養殖産業の形成過程と階層分化ーベトナム南部カントー市を事例にー

3. 高校生によるポスター発表 (12:00~13:15 (コアタイムは 12:30~13:15))

岡山操山高校 7件 玉島高校 1件

4. 総会 (13:15~13:45)

5. シンポジウム (14:00~17:00)

テーマ: 日本の都市システムと岡山のチカラ

基調講演: 阿部和俊 (愛知教育大・名誉) 「日本の都市における岡山の位置」

報告者: 北村哲彦 (岡山経済研究所): 岡山経済の現状

日野正輝 (中国学園大): 岡山の都市イメージと産業特性

兼子 純 (愛媛大): 岡山との関係からみた四国地方における流通拠点

森 泰三 (岡山操山高): メガバンク形成後の都市銀行の跡地利用から考える都市内部構造の変化ー岡山市とその他の地方政令指定都市ー

総合討論

オーガナイザー: 山下博樹 (鳥取大)・藤塚吉浩 (大阪市立大)・北川博史 (岡山大)

2017 年度地域地理科学学会大会

期 日 6月24日(土) 一般発表・ポスター発表・総会・シンポジウム・懇親会

6月25日(日) 巡検

場 所 岡山大学津島キャンパス 文化科学系総合研究棟2F 共同研究室

参加費 500円(資料代および会場使用料)

日程

6月24日(土)

1. 一般発表
2. 高校生によるポスター発表
3. 総会
4. シンポジウム「瀬戸内の再発見」(14:00~17:20) (人文地理学会特別例会と共催)

趣旨説明：市南文一(岡山大)

話題提供：今井英文(山陽学園大・非)：中学校地理教科書にみる中国四国地方認識の変容―特に瀬戸内地域について―

本郷 満(公益社団法人中国地方総合研究センター)：山陽3県の製造業における新規事業の取り組み

平 篤志(香川大)：地方拠点企業(群)と海外展開―四国企業を事例として―

吉本 勇(就実大)：山陽エリアの産業観光の可能性

野間晴雄(関西大)：3つの瀬戸内論の来し方・行く末―小西和、宮本常一、河野通博―

オーガナイザー：市南文一(岡山大)

6月25日(日)

1. 巡検 「備中中部の歴史地理―成羽川水系をたどる―」

集合場所・時間：JR岡山駅西口バス乗り場 午前8時15分集合

コース：JR岡山駅→備中松山城展望台→山中鹿之助墓→陣屋町成羽→(昼食)→

笠神の文字岩・新成羽川ダム→吹屋ふるさと村・広兼邸→岡山空港(18:30予定)

→JR岡山駅(19:10予定)

案内者：河合保生(ノートルダム清心女子大学文学部)他

定員：40名

参加費：5,000円(昼食代込み)、院生・学生会員は4,000円

地形図：2.5万分の1「豪渓」「高梁」「備中市場」「吹屋」

2016 年度地域地理科学学会大会

期 日 6月26日(日)

場 所 岡山大学津島キャンパス 文化科学系総合研究棟(文学部南側) 2F 共同研究室

参加費 500円(資料代および会場使用料)

日 程

1. 一般発表(9:00-12:00 1件あたり、発表11分、討論3分、交代1分、計15分)

加藤内蔵進(岡山大)・加藤晴子(岐阜聖徳学園大)・濱木達也(岡山大・院)・大谷和男(岡山大)
: ドイツと日本の冬から春への季節進行と季節感に関する学際的比較

松本健吾(岡山大)・加藤内蔵進(岡山大)・大谷和男(岡山大): 梅雨最盛期と盛夏期の東日本に
おける大雨日の降水特性と総観場の気候学的解析(続報)

吉本 勇(就実大): 岡山市中心部における大型店の盛衰について

塚本僚平(九州産業大): 地場産業産地における生産・流通構造-児島アパレル産地を事例に-

神田竜也: 岡山県津山市における集落営農組織の特質と課題-2つの法人組織の例から-

川久保篤志(東洋大学): 長野県における新規就農支援事業の成果と課題

畠山輝雄(鳴門教育大): 徳島県鳴門市における地域包括ケアシステムの構築とローカル・ガバナンス

高野 宏(岡山大): 旧久米郡中央町における村落社会の変容

前田昌義: 明治末期における岡山県北東部の生活状況

阿部康久(九州大)・閻陽(九州大・院): 中国華南地域へのホワイトカラーの省間国内移動と就業
継続意志

中藤康俊: 現代の課題にこたえる地理学

2. 高校生によるポスター発表(12:00-13:15(コアタイムは12:30-13:15)) 6件

3. 総会(13:15-13:45)

4. シンポジウム(14:00-17:00)

テーマ: 中四国の都市商業地域の行方を探る

報告者: 川田 力(岡山大): 中四国の都市商業地域の動向

荒木俊之(ウエスコ): 岡山市における商業地域の変容-立地規制と小売店立地の視点から-

藤塚吉浩(大阪市立大): 高知市における中心商店街の空洞化と周辺環境の変化

駒木伸比古(愛知大): 徳島都市圏における大型店の立地動向と地域の変容-出店規制に
注目して-

オーガナイザー: 山下博樹(鳥取大)・平篤志(香川大)・川田 力(岡山大)

2015 年度地域地理科学学会大会

期 日 6月28日(日)

場 所 岡山大学津島キャンパス 文化科学系総合研究棟(文学部南側) 2F 共同研究室

参加費 500円(資料代および会場使用料)

日 程

1. 一般発表(9:20-12:00 1件あたり、発表15分、討論4分、交代1分、計20分)

渡部友里(岡山大・院):瀬戸内海の離島における移住行動の多様性と生活形成

玉木裕介(岡山大・院):農業への転職者が持つ就農選択要因とそのプロセス - 岡山県を事例として

松永蒼佑(岡山大・院):日本向け農産物の開発輸入を通じたソーシャルビジネスの可能性

ータイ北部におけるほうれん草生産を事例にー

松本健吾(岡山大・院)・加藤内藏進(岡山大):東日本の梅雨期から盛夏期における大雨日の降水特性と大気場に関する気候学的解析

埴和優一(岡山大・院)・加藤内藏進(岡山大)・大谷和男(岡山大):季節進行の中でみた10月頃からの日々のシベリア高気圧の発達について

前田昌義:明治末期における備中北部地域の生活状況

市南文一(岡山大)・深井彩華(矢切薬品):岡山県新庄村の農林業経営と糯米の生産・加工・販売

中藤康俊:東京一極集中と国土の再編成

2. 高校生によるポスター発表(12:00-13:00(コアタイムは12:30-13:00)) 5件

3. 総会(13:00-13:30)

4. シンポジウム(14:00-17:30)

テーマ:「瀬戸内」の災害を考える-広域災害にむけて-

報告者:隈元崇(岡山大):推定される瀬戸内の地震被害予測について

加藤内藏進(岡山大):日本の中でみた瀬戸内地方の気象災害の特徴

松多信尚(岡山大):日本の中でみた瀬戸内地方の土砂災害の特徴

高橋 誠(名古屋大):スマトラ地震、東北地方太平洋沖地震にみる広域災害と災害の特徴

荒木一視(山口大):東南海・南海地震の減災における瀬戸内の役割-災害時の物流に注目して-

オーガナイザー: 松多信尚、加藤内藏進

2014 年度瀬戸内地理部会例会（山口地理学会研究会・巡検と共催）

期 日 2014 年 8 月 26 日（火）～27 日（水）

場 所 岡山大学教育学部講義棟 3 階 5301 教室（岡山市北区津島中 3-1-1）および J R 児島駅周辺

参加費 無料（巡検は交通費および施設入館料実費がかかります）

プログラム：

8 月 26 日（火）研究会・懇親会

研究会（14：00-17：00）

大石貴之「日本における茶業地域の観光活用の可能性」

楮原京子・佐賀平野北縁断層帯調査グループ「吉野ヶ里遺跡周辺の活断層」

川田 力「岡山市における E S D の地域的展開」

河村克典「大正 7 年（1918）シベリア経由とアメリカ経由による東京天文台の経度決定」

川村博忠「江戸初期日本図研究と池田家文庫資料の関わり」

高田準一郎「島嶼地域の持続可能性を考える教材開発」

松多信尚「津波遡上高分布から推定する、東北地方太平洋沖地震の震源」

懇親会（18：00）

8 月 27 日（水）

巡検 「倉敷市児島地区の生活と産業」

コース：8：30 岡山駅集合—J R 児島駅周辺—昼食後 岡山駅にて解散

案内者：吉本 勇

2014 年度地域地理科学大会

期 日 2014 年 6 月 29 日 (日)

場 所 岡山大学津島キャンパス 文化科学系総合研究棟 (文学部南側) 2F 共同研究室

参加費 500 円 (資料代および会場使用料)

プログラム:

1. 一般発表 (9:30 ~ 11:30 1 件あたり, 発表 15 分, 討論 4 分, 交代 1 分, 計 20 分)

岩本 龍 (岡山大・院): 伊予鉄道の成功事例にみる松山市郊外の変化

濱田理未 (岡山大・院): 岡山市中心市街地におけるオフィスの立地動向

梶浦桃子 (岡山大・院): 山村留学と地域づくりー島根県大田市「三瓶こだま学園」を事例にー

前田昌義: 小豆島醤油醸造業と京阪神市場

加藤内蔵進 (岡山大)・森泰三 (備前緑陽高校)・埴和優一 (岡山大・院)・三宅昭二 (岡山大): 冬を挟む季節進行の非対称性からみる日本の広域気候環境に関する高校での授業開発

宮本真二 (岡山理科大学)・内田晴夫 (京都大)・安藤和雄 (京都大)・ムハマッド セリム (バンダラデシュ農業大学)・アバニクマール バガバティ (インド, ゴウハティ大) ・ニッタノンダ デカ (インド, ゴウハティ大): ブラマプトラ川流域の土地開発史

2. 高校生によるポスター発表 (11:30 ~ 13:00 (コアタイム 12:00 ~ 13:00))

岡山一宮高校 2 件 備前緑陽高校 4 件 津山高校 20 件

3. 総会 (13:00 ~ 13:30)

4. シンポジウム (14:00 ~ 17:30)

テーマ: 「瀬戸内」の今日的意義ー近年における地域産業の動向からー

基調講演: 倉地克直 (岡山大) 「近世瀬戸内交通事情」

報 告: 新藤博之 (いよぎん地域経済研究センター): 愛媛の地場産業ー東予地域を中心として

塚本僚平 (九州産業大): 瀬戸内地域における地場産業産地の形成と発展・存続

ー東かがわ手袋産地を中心にー

吉本 勇 (就実大): ジーンズの聖地・倉敷市児島の観光形態を探る

中川秀一 (明治大): 小豆島におけるオリーブ栽培再生と関連産業の展開を可能にした組織と制度

オーガナイザー: 寺谷亮司 (愛媛大)・加藤内蔵進 (岡山大)・常井仁美 (津山高)・北川博史 (岡山大)

2013 年度地域地理科学大会

期 日 2013 年 6 月 30 日 (日)

場 所 岡山大学津島キャンパス 環境理工学部棟 1F 104 講義室

参加費 500 円 (資料代および会場使用料)

プログラム:

1. 一般発表 9:00 ~ 12:39 (1件あたり発表12分、討論4分、交代1分、計17分)

近藤祐磨 (岡山大・学): 松原における再生・保全活動の運営実態と地域住民の松原イメージ
—「虹の松原」を事例として—

金 科哲・駄田井久・本田恭子 (岡山大)・Hoang Ngoc Minh Chau・房安功太郎・Cao Thanh Hung・Le Ngoc Phuong Quy (岡山大・院): ベトナム中部沿岸地域における安全野菜栽培の取り組み (その1) —生産者の視点から

駄田井久 (岡山大)・房安功太郎・Hoang Ngoc Minh Chau・Cao Thanh Hung・Le Ngoc Phuong Quy (岡山大・院): ベトナム中部沿岸地域における安全野菜栽培の取り組み (その2) —消費者の視点から

前田守弘 (岡山大)・茅野瑛介・西村悠史・Nguyen Van Huy (岡山大・院): ベトナム中部沿岸地域における安全野菜栽培の取り組み (その3) —バイオマスの活用と土壌・水質に関する実態調査

姜 淑敬 (岡山大・院): トルコのハラフ平原における綿花農業展開以後の地域社会の変容

宮本真二 (岡山理大): ヒマラヤ東部における民族移動と土地開発

加藤内蔵進 (岡山大)・西村奈那子・坪和優一 (岡山大・院): 季節進行の中でみた北陸における初冬の冬型時の降水とその大気環境について

菅 浩伸 (岡山大)・浦田健作 (大阪経法大)・長尾正之 (産総研地質情報)・堀 信行 (奈良大)・大橋倫也 (岡山大)・中島洋典 (有明高専)・後藤和久 (東北大)・横山祐典 (東京大)・鈴木 淳 (産総研地質情報): マルチビーム測深による海底地形学の開拓と石垣島名蔵湾で発見された沈水カルスト地形

神田竜也: 高等学校における身近な地域を題材とした巡検学習の実践

森 康成 (近大姫路大・非): 地理教科書に見る災害や防災教材—明治から平成にかけて—

前田昌義: 昭和初期における小豆島醤油の移出状況

重見之雄: 第2次製塩地整理覚え書き (その6) —広島県尾道市の場合—

2. ポスター発表 (12:40 ~ 14:00 (コアタイム 13:00 ~ 14:00))

生方史数 (岡山大)・Cao Thanh Hung・Tran Bao Hung (岡山大・院): ベトナム中部沿岸地域における安全野菜栽培の取り組み (その4) —農村金融との関連から

守田秀則 (岡山大)・松本雄樹 (岡山大・院)・Nguyen Huu Ngu (フエ農林大学): ベトナム中部沿岸地域における土地利用変化の地理空間的特徴

本田恭子 (岡山大)・Hoang Ngoc Minh Chau (岡山大・院): ベトナム中部沿岸地域の水利慣行と自治組織

3. 高校生によるポスター発表

岡山一宮高校 (指導 森 泰三 教諭)

4. 総会 (14:00 ~ 14:30)

5. シンポジウム 「グローバル化時代の産業構造と地域づくり」 (14:30 ~ 17:30)

趣旨説明：座長 中藤康俊（岡山大 名誉教授）

パネリスト：川久保篤志（東洋大）：T P P と日本農業－牛肉・オレンジの経験とコメ産地の展望－

中島 茂（愛知県立大）：グローバル化時代における地域産業社会の変容－愛知県の繊維産業産地を中心に－

秋山道雄（滋賀県立大）：産業集積地の変容と地域政策への示唆－大阪府南部地域（旧泉州機業地）を事例として－

2012 年度地域地理学会大会

期 日 2012 年 6 月 30 日 (土)

場 所 岡山大学津島キャンパス 環境理工学部 104 講義室 (岡山市北区津島中 3-1-1)

参加費 500 円 (資料代、会場使用料)

プログラム:

1. 一般発表(9:00~11:50 発表 15 分、討論 4 分、交代 1 分、計 20 分)

光畑俊輝* (倉敷市立長尾小)・加藤内藏進 (岡山大)・高橋信人 (宮城大): 東アジア季節進行の中で見た 9~10 月頃の東日本の多降水日の降水特性と大気場

加藤内藏進* (岡山大)・佐藤紗里 (岡山市立平島小)・末石範子 (岡山一宮高)・森泰三 (岡山一宮高)・中倉智美 (岡山大附属中)・入江泉 (岡山大): 日本の秋から冬への遷移期の気候特性と和歌に見る季節感に関する学際的授業の開発

前田昌義: 丸金醤油株式会社の経営について

釜井智行 (ジー・教育コンサルタント): 高等学校入試で測られる地理認識の傾向—新指導要領への移行をふまえて—

鈴木美穂* (カミ商事)・生方史数 (岡山大)・金料哲 (岡山大): 災害に強い社会の創造—岡山市・高知市における地震対策と住民意識—

北川博史 (岡山大): インドにおける ICT 産業とその空間構造

中藤康俊 (岡山大名誉教授): 中国・岐路に立つ経済大国

2. 高校生によるポスター発表(12:00~13:30 (コアタイムは 12:30~13:30))

総社南高校 発表 10 件 「総社市の地域調査」 (指導: 常井仁美 教諭)

岡山一宮高校 発表 3 件 (指導: 近間太景志 教諭)

3. 総 会(13:30~14:15)

4. シンポジウム(14:30~17:30) (共催: 経済地理学会 関西支部・西南支部合同 6 月例会)

テーマ: 広域行政を展望する

座長: 高山正樹 (大阪大)

趣旨説明

基調講演: 森川 洋 (広島大名誉教授) 日本における市町村合併と広域行政

パネリスト: 青木勝一 (兵庫県庁): 関西広域連合の成立と展開—関西広域連合を用いた地域発展の方向性—

根岸裕孝 (宮崎大): 宮崎県における定住自立圏構想の現状と課題

中村良平 (岡山大): 持続可能な地域経済と広域行政

総合討論

5. 懇親会(18:30~) 岡山大学生協・ピーチユニオン

2011 年度瀬戸内地理部会例会（全国地理教育学会岡山例会と共催）

期 日 2011年8月20日（土）～21日（日）

場 所 岡山大学文化科学系総合研究棟2階（岡山市北区津島中3-1-1）および岡山市中心部

参加費 シンポジウム 無料

懇親会 5000円（予定）※当日徴収します

巡検 電車代100円，岡山デジタルミュージアム入館料300円

プログラム：

第1日目 8月20日（土）

13：00 受付

13：30～15：30 シンポジウムⅠ「身近な地域に関する地理的学習の諸課題
ーフィールドワーク学習と地域教材開発ー」

15：30～15：50 休憩

15：50～17：30 シンポジウムⅡ「「日本地理かるた」を活用した地理学習」

18：30～20：30 懇親会

第2日目 8月21日（日）

10：00～15：00 巡検 （集合：10時 岡山駅東口広場噴水前）

テーマ：岡山市中心部における地域的特色の理解ー現在と江戸時代との関連性ー

2011 年度地域地理科学大会

期 日 2011 年 6 月 26 日 (日)

場 所 岡山大学津島キャンパス 環境理工学部 104 講義室 (岡山市北区津島中 3-1-1)

参加費 500 円 (資料代、会場使用料) [公開シンポジウムは参加無料]

プログラム:

1. 一般発表(9:00~11:30 発表 15 分、討論 4 分、交代 1 分、計 20 分)

盛 茗 (岡山大・院): 生活廃棄物系バイオマスの循環利用と住民活動

神田竜也: 岡山県久米南町北庄における地域づくりの推移と青壮年組織

加地 健 (岡山大・院): 市町村合併に伴う行政サービスの再編動向—岡山県における一般廃棄物処理を事例として—

前田昌義: 備前醤油醸造組合の活動と岡山県の醤油醸造業

北川博史 (岡山大): 太平洋島嶼国家における地域構造の特徴と機能集中—パラオ共和国を事例として—

加藤内藏進 (岡山大): 春や秋における多降水日の出現状況と経年変化—長崎と東京の比較—

高野 宏 (豊田高専): 中山間地域における民俗芸能の今日的意義—島根県広瀬町西比田の大田植・カシラウチを事例として—

2. 高校生によるポスター発表(11:30~13:00 (コアタイムは 12:30~13:00))

3. 総 会(13:00~13:45)

4. 公開シンポジウム(14:00~17:00) [参加無料]

テーマ: 持続可能な社会と地域をめざして

オーガナイザー: 加藤内藏進 (岡山大)・森 泰三 (岡山一宮高校)・川田 力 (岡山大)

報告者: 阿部宏史 (岡山大): 人と環境に優しい持続可能な都市づくりを考える

水内俊雄 (大阪市立大): 脱ホームレス支援から学ぶ地域で創るセーフティネット

森本二郎 (自然写真家): 自然景観を保持・改善するために大切なもの

菅 浩伸 (岡山大): 太平洋・インド洋の環礁国からみた温暖化時代の持続可能性

2010 年度地域地理科学学会大会

期 日 2010 年 6 月 27 日 (日)

場 所 岡山大学津島キャンパス 教育学部 5101 講義室 (岡山市北区津島中 3-1-1)

参加費 500 円 (資料代、会場使用料)

プログラム:

1. 一般発表(9:00~12:00 発表 15 分、討論 4 分、交代 1 分、計 20 分)

盛 茗(岡山大・院): 中国における大中型メタンガスプラントの導入現状-中国大連市旅順口区を事例に-

杜 娟(岡山大・院): 中国遼寧省の産業構造と「五点一線」沿海地帯の開発政策

夫 惠眞(岡山大・院): 韓国農村部における地域開発と地域コミュニティー-済州特別自治道振興 2 里の住民組織の取り組みを事例に-

川田 力(岡山大): ウィーン市ブルンネン地区における都市整備事業の展開

高野 宏(岡山大): 民間信仰に及ぼす社会変動の影響-広島県西城町八鳥の荒神信仰を中心に-

末田智樹(中部大): 昭和戦間期における百貨店の立地展開-大阪から東京および地方への波及-

加藤内藏進(岡山大)・蔵田美希(岡山大・学)・大谷和男(岡山大・院): 九州北西部の日々の梅雨降水の特徴の 20 世紀を通じた変化(長崎を例に)

前田昌義: 児島醤油株式会社と岡山県の醤油醸造業

重見之雄(関西福祉大・非): 瀬戸内塩田研究のアラカルト(その 2)-広島県松永湾沿岸の第 2 次製塩地整理準備調査より-

2. 高校生によるポスター発表(12:00~13:30 (コアタイムは 13:00~13:30))

3. 総 会(13:30~14:15)

4. シンポジウム(14:30~17:30)

テーマ: 農村地域の未来可能性を考える

オーガナイザー: 作野広和(島根大), 河本大地(神戸夙川学院大)

報告者: 作野広和(島根大): 農村地域再生の課題-集落の実態と可能性を中心に-

中瀬 勲(兵庫県立人と自然の博物館): 生物多様性と多自然居住地域

河本大地(神戸夙川学院大): 「地域多様性」概念とそこから見える農村地域の価値

神田竜也(岡山大): 水田・里山放牧の展開と導入および継続上の課題

勝山達郎(農林水産省中国四国農政局): 農村地域の将来-新しい食料・農業・農村基本計画を中心に-

2010年度瀬戸内地理部会例会（棚田学会第20回研究会・現地見学会と共催）

期 日 2010年5月15日（土）～16日（日）

場 所 岡山大学文化科学系総合研究棟2階 共同研究室（岡山大学津島北キャンパス内）
および久米南町北庄の棚田、美咲町大坪和西の棚田

募集人員 20名（〆切 5月7日（金） 定員になりしだい締め切ります）

参加費 1万5千円（懇親会費 5千円、宿泊費 5千円、現地見学会バス代金＋昼食費 5千円）
尚、参加費は多少変更する場合があります。

プログラム：

1日目 5月15日（土）

研究会 14時～17時 （13時より受付開始） 一般参加可（資料代 500円）

会 場 岡山大学文化科学系研究棟2階 共同研究室

発 表 神田竜也（岡山大）：久米南町北庄の農業用ため池・水路と棚田—その成立、維持管理、
および地域文化の継承について—

西河明夫（棚田天然米生産組合）：今摺米による棚田保全

飯山直樹（株式会社 エコー建設コンサルタント）：大坪和の棚田での景観の入った生態学

総合討論 司会：内田和子（岡山大）

懇親会 18時～20時（ホテルサンルート岡山）

2日目 5月16日（日）

現地見学会（移動には貸切バスを利用）

コース 8時30分（ホテルサンルート岡山発）～16時（岡山駅前にて解散予定）

棚田見学① 久米南町北庄の棚田 案内：西河明夫（棚田天然米生産組合）

棚田見学② 美咲町大坪和西の棚田 案内：見手倉観治（大坪和棚田保存会）